

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27007

学校名：発寒西小学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析	
体力・運動能力 <男子>	前回の記録を上回っている種目 握力 ソフトボール投げ 上体起こし 立ち幅とび	前回の記録より下回った種目 20M シャトルラン 長座体前屈 50M 走 反復横とび	
体力・運動能力 <女子>	前回の記録を上回っている種目 握力 50M 走 長座体前屈 立ち幅とび	前回の記録より下回った種目 20M シャトルラン ソフトボール投げ 上体起こし 反復横とび	
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」「体育の授業が楽しい・やや楽しい」と回答する子どもの割合 (全国平均) R6 男子：94.2% R7 男子：95.6% (94%) R6 女子：90.6% R7 女子：87.2% (87%)	体育の授業を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合 (全国平均) R6 男子：9.1% R7 男子：7.2% (10.3%) R6 女子：13.1% R7 女子：14.9% (17.3%)	
三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ◎「課題探求的な学習」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・研究部を中心に子どものやる気を引き出す授業作りを推進する。 ◎1人1台端末を活用した学習活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画、アプリの活用によって、自己の振り返りや、積極的なグループ交流を実現し、より課題探究的な体育学習になるよう工夫する。 ◎発寒スポーツデーに向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・50M走、表現運動に加え、今年度より団体競技(玉入れ、鯉の滝登り、綱引き)を行う。異学年間の交流や、集団での課題探究の中で、楽しく体を動かす喜びを感じられるよう取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動の機会の充実を図る環境整備の推進。 <ul style="list-style-type: none"> ・マットウィークや跳び箱ウィークなど、器具を使った運動に親しむため、一定期間器具を設置した状態にして、休み時間なども運動に親しめるようにする。 ・縄跳び検定の取組では、休み時間の特別教室を割り当て、検定カードを用いて、どの子どもも合格を目指して練習できるようにする。 ◎縄跳び委員会・集会委員会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが中心となり、縄跳び大会やドッジボール大会などのイベントを企画し、楽しく体を動かす機会を創出する。 ◎休み時間の割当、冬季の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間には、体育館・グラウンドに加え、特別教室も割り当てる。また、冬季もグラウンドで体を動かせるよう、ルールや教員の見守り体制を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳教育推進教師を中心に道徳の授業の充実(生命尊重、自他の心と体を大切にする態度などの道徳的価値)を図る。 ◎養護教諭・栄養教諭・スクールカウンセラーなどと連携し、保健体育、食指導、心の教育、総合的な学習の時間などの充実を図る。また、児童の実態に応じて指導の見直しを行う。 ◎コミュニティスクール(『ハッチャムひろば』)との連携による、外部講師を招いた授業(感染症予防・パドミントン)。 ◎薬物乱用の危険性を学ぶ授業での外部講師の活用。
検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用。 ○ 体育の学習状況を活用した取組の見直し。 ○ 学校で行う児童アンケートや保護者アンケートの活用。 		